

プレスリリース

報道関係者各位

平成26年3月29日
公益財団法人 国立京都国際会館
ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

ドイツ人映画監督の見た国立京都国際会館
「メタボリズムをこえて」 ジャパン・プレミア上映会
Beyond Metabolism
フォルカー・ザッテル&シュテファニー・ガウス監督

【開催背景】2013年冬にドイツの公的文化機関ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川の招聘アーティストとして来日したフォルカー・ザッテルとシュテファニー・ガウス（ドイツ/映画監督）のプロジェクトが”Beyond Metabolism”というドキュメンタリー映画として完成しました。1966年に開館した国立京都国際会館を映像的に観察し、特に1997年に「京都議定書」を採択した気候変動枠組条約締約国会議が開催された建物を国際会議、建築、通訳について語る原点として映像で表現しています。

今回、2014年2月のベルリン国際映画祭にて初上映され好評を得た本作品を、両映画監督の同席のもと、国立京都国際会館にてジャパン・プレミアとして上映します。ドイツの映画監督が国際会館を取り上げた理由、そして映像を通して、建築物としての国際会館の意義を再検証・再評価する機会としたいと思います。

【開催概要】

ドイツ人映画監督の見た『国立京都国際会館』

戦後日本の代表的建築『国立京都国際会館』の現代における意義を、映像を通して再検証・再評価したドキュメンタリー

主催：公益財団法人国立京都国際会館、Goethe-Institut Villa Kamogawa

後援：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、京都市 協力：京都市交通局

助成：German Films、AG Kurzfilm

日時：2014年4月27日（日）13:30～17:30（13:00開場）

会場：国立京都国際会館 会議場 Room A

参加者：入場無料、申込不要で当日先着200名

【プログラム】

- 挨拶 (公財) 国立京都国際会館 木下 博夫館長
ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川 マルクス・ヘルニヒ館長
- 第一部 作品の趣旨について ※日本語通訳付
フォルカー・ザッテル、シュテファニー・ガウス (映画監督)
- 第二部 『メタボリズムをこえて』作品上映 (約 40 分)
- 第三部 座談会『歴史を目撃した未来への文化遺産—国立京都国際会館をめぐって』
※日本語通訳付

コーディネーター： 松隈 洋 (京都工芸繊維大学 教授)
参加者： フォルカー・ザッテル (映画監督)
シュテファニー・ガウス (映画監督)
山本 敬則 (大谷研究室 代表取締役)
松本 哲夫 (剣持デザイン研究所 代表取締役)
- 第四部 建築家とインテリアデザイナーによる館内ツアー
建築コース、インテリアコース各先着 30 名

【本催事に関するお問い合わせ先】

公益財団法人国立京都国際会館 総務・企画部 企画事業室 担当：関
〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池
TEL:075-705-1218 e-mail:com@icckyo.or.jp
www.icckyo.or.jp

ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川 広報窓口：安井
〒606-8305 京都市左京区吉田河原町 19-3
TEL:075-761-2188 (内線 31 #) e-mail:info@villa-kamogawa.goethe.org
www.goethe.de/villa-kamogawa